

令和4年度 臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：障害者歯科治療部
第4期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 1. 「歯科再生・再建医療拠点形成による先進的歯科医療の推進」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 2. 「オーラルビッグデータ管理体制の整備」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 3. 「『口の難病』バイオリソースの整備と活用支援の推進」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 4. 「歯科医学臨床教育の質保証」に関する臨床研究 <input checked="" type="checkbox"/> 5. その他
研究期間：2019年7月11日～2023年3月31日
研究課題名：障害者歯科における家族支援プログラムの開発
<p>研究課題の概要及び成果:大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部を受診する障害のある子をもつ親のQOL, 育児ストレス, 感情表出および心理サポートニーズを調査し, 心理カウンセリングおよび, 講座と対話(親育ち学級)からなる親支援プログラムを構築し, 実践した. ニーズ調査の結果, 親が抱える悩みや不安に対し, 子の支援をうける施設で専門的な心理サポートを受けることの必要性が示唆された. 親支援プログラムの結果, 患者・家族の心理状態改善や医療スタッフの負担軽減などが実現した. さらに親の面接, 対話や講義などを通じ親に情報提供すること, ピアや専門職と語る場を提供すること, 公認心理師が継続的にかかわることが, 親の心理サポートの一助になる可能性が示された.</p> <p>本研究を通じ, 障害者歯科医療における対話を通じた家族支援は, 有効で意義のあることが示され, さらに他職種とのネットワークやチームによる対応が, 障害のある人と家族のナラティブへの理解を深め, 障害者歯科医療の補強と質向上につながる可能性が示唆された. 本研究成果は, 日本障害者歯科学会雑誌43(1), 17-25, 2022に掲載, および日本障害者歯科学会雑誌44(1), 2023に掲載予定である.</p>
上記概要・成果に関連する図表等
<p>The diagram illustrates the research structure. On the left, '実施者の専門分野' (Implementation Fields) lists: 障害者歯科学 (Specialized Dentistry), 臨床心理学 (Clinical Psychology), 小児看護学 (Child Welfare), 社会福祉学 (Social Welfare), 臨床哲学 (Clinical Philosophy), and ジェンダー学 (Gender Studies). In the center, 'プログラム' (Programs) lists: プログラムⅠ: 障害のある子をもつ親のQOL, 育児ストレス, 感情表出および心理サポートニーズ調査 (Program I: Survey of QOL, stress, and needs); プログラムⅡ: 公認心理師による心理カウンセリング (Program II: Counseling by licensed psychologists); プログラムⅢ: 講座と対話によるセッション(親育ち学級) (Program III: Sessions by lecture and dialogue). On the right, '目標としたアウトカム' (Target Outcomes) lists: 障害者歯科に通う患者の親の心理状態とサポートニーズの把握 (Understanding of parents' mental state and needs); 障害者歯科に通う患者の親への心理カウンセリングによる心理サポート効果の評価 (Evaluation of support effects); and 障害者歯科での親への心理サポートの必要性と効果, 障害者歯科での親支援の在り方 (Necessity and effectiveness of support, and its role).</p>
当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可）
<input type="checkbox"/> 関連がある <input checked="" type="checkbox"/> 関連はない